

平成26年度 第3回 安渡地域復興協議会

資料1 検討テーマ

1. 第2回協議会結果
2. 協議会の役割と検討事項の位置づけ
3. 勉強会の設置について
4. 第2回協議会の検討テーマ

1. 第2回協議会結果

日時：平成26年9月7日（日） 13:30～15:30

会場：大槌町役場3階会議室

参加者：10名

テーマ (1)土地利用のイメージと生活サービス
(2)道路・広場について

2. 協議会の役割と検討事項の位置づけ

「地域復興協議会」とは

- ～平成25年度
- ・まちづくり懇談会
復興事業に係る進捗状況の説明
 - ・住みやすい安渡を考える会
コミュニティ再生の課題、高齢者の暮らし など
 - ・デザイン会議
公共施設・空間の計画や設計に向けたイメージの共有
 - ・避難ホールワークショップ
避難ホールの設計案について話し合い

平成26年度

地域復興協議会

昨年度までの色々な会議を一つにしたもの
事業説明の場、話し合いの場があります

地域復興協議会の役割と検討事項の位置づけ

協議事項（運営規則より）

- 大槌町震災復興構想素案に関する事
- 地域復興計画策定に関する事
- 身近な暮らしや地域の課題に関する事
- その他、会長が必要と認める事項



つまり、まちづくりに関わる
様々な事項について協議できる

- ・ 本来、将来像等を検討したあとで、都市施設等のデザインを検討する流れがあるが、設計の時期が迫っているため、先行して道路・広場等を計画
- ・ 都市施設等の検討の段階は以下の通り

① 基盤整備の実施・骨格(都市計画決定等の手続済)

使いやすいデザインの検討が必要になっている

② 素案(デザイン会議での検討結果)

③ 計画案(協議会案)

④ 一般住民への公表等を経て町に提案

利用(アクティビティ)を想定してデザイン

【現時点】

計画案（協議会案）の実現について

- ・ 現在検討している計画案（協議会案）は100%復興交付金での事業化ができるか、現時点では判断できない。
- ・ 実現のためには、以下のようなパターンを想定しておく必要がある。

①復興交付金100%で事業化

②復興交付金対象外は、町の単費で事業化

③復興交付金対象外は、住民等が関与して整備

④整備内容を縮小（復興交付金対象に合わせる）

3. 勉強会の設置について

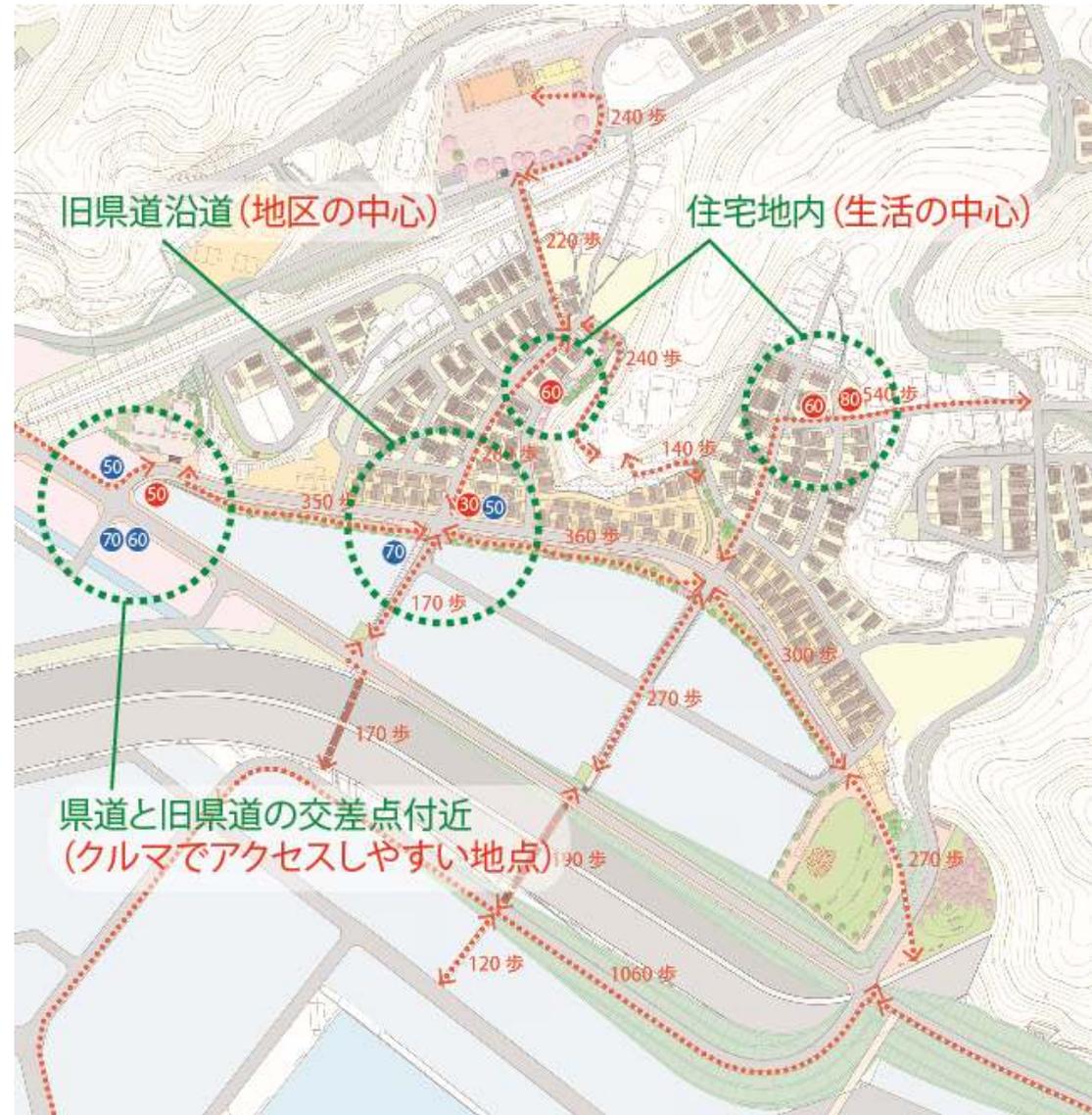
佐々木会長より説明

第2回協議会では、身近な商店立地が望まれる場所と、必要な生活サービスについて、意見を出し合った。

この結果については、勉強会の検討材料として活用する。

土地利用のイメージと生活サービスについて

- ①身近な買物を行う商店、身近な用事を行うことができる施設等があることが望ましいエリア
(シールで投票)



②安渡に必要な生活サービス(シールで投票)

	男性	女性	合計
①食料品が買える店	1(60代)	4(50代、60代2名、80代)	5
②日用品が買える店	1(60代)		1
③美容院・床屋			
④クリーニング店			
⑤衣料品店			
⑥飲食店(食堂など)		2(30代、50代)	2
⑦飲み屋	1(50代)		1
⑧ガソリンスタンド			
⑨保育所	5(50代2名、60名、70代2名)	1(30代)	6
⑩郵便局	2(50代、70代2名)	3(60代2名、80代)	5
⑪その他			

4. 第3回協議会の検討テーマ

①第2回協議会で検討した施設のデザインコンセプトを確認する。

②他の道路等について検討する

すりきず公園、二渡神社参道、公民館に繋がる道、古学校への坂道について**特に大切なこと**を話し合う。

③広場・道路等の維持管理について話し合う



本日の協議結果: 計画案(協議会案)

デザインコンセプト(特に大切なこと)を計画

計画案（協議会案）として決めること

①都市施設の整備内容

対象：旧県道、湧き水広場、海に近い広場、遊歩道、海を見る高台

すりきず公園、二渡神社参道、公民館に繋がる道、古学校への坂道

計画内容：デザインノートの内容についての承認
（第1回・第2回協議会で確認済み）

②整備上重視すべき事項（特に大切にしたいこと）

各施設において、施設利用・活用の観点から整備の留意事項等

協議結果を都市施設の計画案（協議会案）としてまとめ、一般住民へ公表・意見収集し、町へ提案する